



まちづくりびと ニュース 第6号

平成 20 年 06 発行

<目 次>

- 地域の“まちづくりびと”養成講座…P1 ●「まち“夢”工事部門」………P2
- 「一般部門」「“はじめの一步”部門」P2 ●あいさつ……………P5

地域の“まちづくりびと”養成講座

おなじみ「地域の“まちづくりびと”養成講座」（平成 19 年度）が終わりました。講座の後半は、現地での建築協定の指定についての学習、身近な公園を題材にしたデザインゲームなどの体験を行い、最後の 2 回は歴史のある熱田区を題材にして、まちづくりの提案を行うワークショップを実践し、全体のまとめとしました。今回は 35 人の申し込みがあり、さまざまな世代の方々に参加いただき無事終了しました。終了後、まちづくりびとに登録をいただいた方は 23 名で、1 期、2 期を含めて総勢 62 名となりました。

平成 20 年度は、入門編として熱田区日比野地区をモデルとした地域に根ざしたまちづくりを考える講座を予定しています。そして、登録いただいた皆さんのステップアップ編として、まちづくりファシリテーターを養成する講座を行います。7 月 1 日から募集を開始しますので、ぜひ参加ください。（同封チラシをご覧ください。）



「一般部門」「“はじめての一步” 部門」助成団体決定

平成 20 年度の「一般部門」「“はじめての一步” 部門」の助成団体が決まりました。
6 月 7 日(土)に「一般部門」に応募された団体の方々からプレゼンテーションが行われ、真剣な質疑を経て公開で応募 7 団体の中から 5 団体が選ばれました。
(「“はじめての一步” 部門」は書面による審査で、5 団体の採用が発表されました。)

●選考結果《採用された団体》

<一般部門>

- ・山崎川グリーンマップ
- ・社会福祉法人 AJU 自立の家
- ・特定非営利活動法人 ひとにやさしいまちづくりネットワーク・東海
- ・有松まち普請の会
- ・国道 41 号線周辺地域の安全と環境をよくする会

以上、5 団体

<“はじめての一步”部門>

- ・笑楽健寿会
- ・東海学区防災・安心まちづくり隊
- ・なごや防災ボランティアネットワーク昭和
- ・^おづくり
- ・名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち

以上、5 団体



「まち “夢” 工事部門」 いよいよ工事が始まる！

名古屋のまちで、市民団体が自分達の手で夢を実現する工事が平成 20 年 3 月から 1 年間で行われています。平成 20 年 2 月 17 日の第 2 次選考会で選ばれた 4 団体はテーマも多彩、ぜひ完成したら皆さんも現地へ足を運んで見学してください。

また、2 年目の募集が 6 月 28 日に締め切られ、7 月 12 日(土)に第 1 次選考会(公開)が行われます。

●平針南学区連合自治会：「平針南学区 自然とくらす地域づくり」

< 提案の概要 >

平針南学区は、豊かな自然に恵まれているが、近年は県営平針住宅の建て替えと土地区画整理事業地内での住宅建設が進んでおり、環境が大きく変わろうとしている。新旧住民の交流や高齢化への対応など、コミュニティの再構築も課題となっている。そこで、住民共通のくらしの基盤となる「自然」をテーマにすることにより、まちへの関心と呼び起こし、交流を図りたい。学区内には「でこぼこ山」「荒池市民緑地」といった雑木林や草むら、竹林などの変化に富んだ自然があるが、長年放置された所も多く、住民だけの力では手入れできない。よって助成を利用し整備を行うことで、住民が利用しやすくとともに豊かな自然環境の保全を行いたい。



活動風景(現地見学)



活動風景(計画案検討ワークショップ)



イメージ図

●特定非営利活動法人 揚輝荘の会：「揚輝荘“夢舞台”」

< 提案の概要 >

揚輝荘は多面的・総合的なまちづくり資源です。市民の手で、市民のニーズに沿って、再構築・魅力アップを図ります。現在、工事中で使用不可や制限がある場所の補完として、北庭園、揚輝荘座敷・南庭園をイベント会場・散策ルートとして、より魅力的な舞台に再構築します。

提案①野外ステージ …●野外ステージ、テントの設置、客席鉄平石修理

●灯籠建直し、周辺の草刈

提案②揚輝荘座敷南側…●ネットフェンス撤去、西門仮フェンス設置

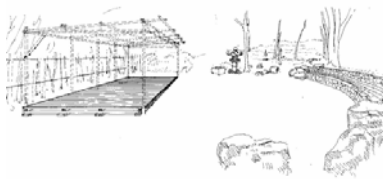
●畳・障子修理、建具・外壁・屋根・庇の補修

●野点場周辺の草刈・腐葉土除去

提案③トンネル東入口…●最近発見されたトンネル（聴泉窟）東入口は、揚輝荘に付随した文化財的価値が高く、この保存整備を図ります。



活動風景(工事説明会)



イメージ図(野外ステージ)



イメージ図(揚輝荘座敷・南庭園)

●那古野一丁目町づくり研究会：「史跡表札の作成・設置」

<提案の概要>

円頓寺商店街周辺には江戸時代から受け継がれた昔ながらの街並み、数々の名所・史跡が残されています。しかし近年の都市化、急速な開発の波を受け、蔵や屋根神様が失われています。地元住民には現在の状況を危惧し、古民家を利用した飲食店を営むことで都市環境を維持しつつ商店街を活性化させようとしている人もいます。申請者らは名所・史跡にできるかぎり表札を立てたいと考えました。

表札作成により観光客にとってまち歩きがしやすくなり、観光客増加も予測されます。しかし、第一の目的は、地元住民に数々の史跡を発見してもらうことで知られていない下町のルーツを認識してもらい、今後の町のあり方に関心を持ってもらうために行ないます。



活動風景（看板設置予定場所の調査）



活動風景（デザインの検討）



イメージ図（表札デザイン）

●非営利活動法人 まちの縁側育くみ隊：「まちの縁側MOMO リニューアル」

<提案の概要>

最近、私たちの「まちの縁側MOMO」は新しい場所に移転しました。そこは南側の日射しを受ける間口の広いRCの建物の1階空間であり、南側は公園（どんぐり公園）に接し、西側は「にれの小道」（名古屋市コミュニティ道路第1号）に接しており、環境条件のセット性において「まちの縁側」的空間に適しいところです。

そこで、これまでの「まちの縁側MOMO」の成果をふまえ、

提案① 縁側的くらしを支えるキッチン、水まわり整備、

提案② 車椅子の人々も自由に出入りできるバリアフリー空間（出入口、トイレット）の整備

提案③ 内と外をつなぐ緑や看板等外部空間整備により、地域に開かれた新しい次元の空間・時間・運営の場をつくり育むことを目指します。



活動風景（パンづくり）



活動風景（帰宅後のMOMOでの学習風景）



イメージ図（外観）

あいさつ

4月の人事異動で、名古屋都市センターまちづくり支援班のメンバーが一部交代しました。

■■■■はじめまして■■■■

三品優子（みしなゆうこ）です。

生田さんの後任として、4月からまちづくり支援の仕事をしています。

まちづくりの仕事は初めてですが、住民主体の地域に根ざしたまちづくり活動がこれからの社会を創る大きな柱になっていくことを、この3ヶ月間でひしひしと感じています。まちづくりびとの皆さんはその中のパイオニア的存在。皆さんと一緒に地域のまちづくり活動の輪を広げていきたいと思います。よろしくお願いします。地域で活動する上で困りのことなどありましたらいつでも相談ください。

■■■■お世話になりました■■■■

生田啓一です。

前号のまちびとニュースで、皆さんに「はじめまして」のご挨拶をしたと思ったら、まさかの4月異動で、もう「お世話になりました」と云わなければならないになってしまいました。とはいえ、人事異動の先は前の席から東へ5m、隣の企画課で、今度は皆さんのまちづくりを側面からお手伝いさせていただく仕事を担当します。センターにお越しの際には、是非、声をかけてくださいね。今後とも、よろしくお願いします。

編集後記

平成20年度もあっという間に3ヶ月が過ぎてしまいました。昨年まで枇杷さんにまかせっきりにしていて、引き継いだもののなかなか手がかず、延び延びになってしまったことをお詫びします。また、新たな気持ちでまちづくりびとの交流の場としてこの紙面を活かしていきたいと考えています。

冒頭にも書きましたとおり、「まちづくりびと養成講座」も3年が経過しました。当初は、どんな人達が参加してくれるのか、どんな講座にするのか、すべてが手探りの状態であったことが、今では懐かしく思い起こされます。そして、3年間続けることで「まちづくりびと」をめざす人達の顔も見えてきました。この蓄積を財産として、このパワーを最大限に活かしていくために何をしなければならないのかを考えていかなければならないと思います。その時のキーワードは「地域力」ではないかと感じます。まちづくりには、必ず特定のフィールドがあります。そのフィールドで悪戦苦闘することで「まちづくりびと」も鍛えられていきます。そのための「地域と人をつなげる仕組みづくり」が重要です。

皆さんとともに考えていきたいと思います。

（T. A）

■ニュースに載せてもよい記事などがありましたら、ドシドシお寄せください！

名古屋都市センター 調査課 まちづくり支援担当

<メンバー>宮島、三品、後藤、青山

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目一番一号金山南ビル1 3階

TEL 052-678-2214 FAX 052-678-2211

E-mail shien@nui.or.jp